

令和7年度 事業報告書



～若い世代のボランティア活動のきっかけづくり～
ボランティアマルシェにて多くの学生ボランティアに協力いただいた時の様子
(令和7年6月14日実施)

目次

【総括】	・・・	1
【事業報告】		
(1)福祉の風土づくり	・・・	3
(2)住民主体の活動づくり	・・・	11
(3)新たな絆をつむぐまちづくり	・・・	26
(4)地域で安心して暮らしつづけることのできる体制づくり	・・・	29

社会福祉法人草津市社会福祉協議会

1. 総 括

令和7年度は、昨年度に引き続き、燃料費高騰や物価高騰などの社会経済状況により、地域住民の暮らしに大きな影響があり、地域における生活や様々な活動に支障が生じております。

また、孤独孤立や引きこもりに加え、子供の貧困やヤングケアラー、女性の生きづらさなど、ますます複雑化した課題が社会問題化しており、誰ひとり残さない社会福祉の取り組みの推進が必要となっております。

このような中、草津市社会福祉協議会では、令和7年度に第4次地域福祉活動計画（令和4年度から8年度までの5年計画）の4年目を迎え、令和6年度に行った中間評価を踏まえながら、最終的な計画の達成に向け、着実に各種事業を進める取り組みを行いました。

一人ひとりの顔が見える地域福祉活動を進めてきたことにより、少しずつではありますが、地域づくりのために取り組んでいる住民の活動があり、また、先の社会問題に対しても何とかして取り組もうとする動きもあり、地域で支え合うための様々な福祉活動が広がっております。

また、令和7年度は草津市社会福祉協議会設立70周年を迎えることができ、これまでの市社協への取り組みへの感謝を示すとともに、これまでの振り返りに加え、新たな課題への取り組みへも皆様にお示しさせていただきました。

このことを踏まえ、地域福祉活動計画に定める「住民主体の福祉のまちづくり」を進めるため、「福祉の風土づくり」、「住民主体の活動づくり」、「新たな絆をつむぐまちづくり」を、「市社協が取り組む福祉の基盤づくり」を進めるため、「地域で安心して暮らしつづけることのできる体制づくり」の4つの基本目標のもと、10の重点項目を定め、事業の効果的な取り組みを進めてまいりました。

重点項目への取組

地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発

- ・広報紙「社協くさつ」を年4回発行するとともに、希望される方には点字版も発行し、ホームページによる情報発信に努め、職員による「出前講座」を行うことで、地域福祉の周知啓発に努めました。

地域福祉活動の担い手づくり

- ・新たに福祉講座を開講し、人材の発掘や育成に努め、学区社協への活動助成を行うとともに、福祉委員の設置促進を手引や学習会を通して行うことで、地域の福祉活動の担い手づくりを進めました。

地域で支えあう仕組みづくり

- ・生活支援体制整備事業では生活支援コーディネーターの配置と協議体を運営することで、地域で支えあう仕組みを推進するとともに、地域支えあい運送支援などの社会資源の発掘に努めるとともに、こどもの居場所支援事業を実施し、フードバンクセンターや車いす等の福祉資源の新たな循環システムを行い、地域福祉の活動を進める関係団体への支援を行うことで、地域で支えあう仕組みづくりを行いました。

若い世代のボランティア活動のきっかけづくり

- ・ペットボトルキャップやプルトップ、使用済み切手の収集など、収集ボランティアを広げるとともに、ボランティアマルシェ等で新たに若い世代のボランティアの参加を促すことで、若い世代にボランティア活動への興味を持っていただき、活動のきっかけづくりにつなげました。

新たなボランティア発掘の仕組みづくり

- ・新たなボランティアの発掘、育成や活動実践を推進できるよう、市民等に対して地域福祉活動をテーマとした講座を開催して地域における支え合いの大切さをお伝えした上で、ボランティアマルシェ等の行事に参加して活動を体験・実践できる一連の機会を提供しました。またボランティアグループ・地域サロン活動リストを作成することで、新たなボランティア発掘の仕組みづくりを行いました。

分野を超えたつながりづくり

- ・善意銀行の啓発により寄付金や寄付物品を募り、生活福祉資金等の貸付事業を実施し、社会福祉法人との連携事業で試行的にボランティアマルシェへの展示ブースの設置も行い、市民の福祉活動への寄付意識の醸成に加え、分野を超えたつながりづくりを行いました。

学区社協をはじめとした地域福祉活動支援

- ・学区社協会長会の開催を通して、地域の役員方の連携を図り、学区社協便覧の作成等を行い、地域福祉活動の推進の拠点となる学区社協を支援することに加え、地域福祉活動計画の進捗管理を行うことで、学区社協をはじめとした地域福祉活動支援を行いました。

ボランティアセンターの機能強化

- ・ボランティアグループや個人ボランティアとの協力のもと、ボランティアニーズのコーディネートやマッチング、ボランティアのPRなど、ボランティアコーディネーターの役割を発揮し、ボランティア活動の拠点となるよう、ボランティアセンターの機能強化を行いました。

包括的な相談体制の構築

- ・生活福祉資金や生活つなぎ資金の貸付を行うとともに、相談員や弁護士の協力のもと、心配ごと相談所の運営を行い、年末には歳末たすけあい見舞金を配布したり、食糧支援などを行うことで、包括的な相談体制の構築を行いました。

地域福祉活動推進に要する財源確保

- ・社協の広報紙である「社協くさつ」やホームページの有料広告を行い、社協のマスコミである「ふくちゃん」の啓発を行うとともに、赤い羽根共同募金運動や赤十字事業の推進を図ることで、地域福祉活動推進に要する財源確保を行いました。

2. 事業報告

I. 住民主体の福祉のまちづくり ～参加と協働の地域福祉活動の推進～

基本目標 1 福祉の風土づくり

～福祉の風土を広げ、地域のくらしの課題を他人ごととしない、
地域福祉力の向上をめざします～

福祉教育や啓発活動の充実に取り組み、尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の風土を広げ、課題を受け止め支え合いの活動を進めます。

(1) 地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発 **重点**

見える社協、魅せる社協活動をめざして積極的な広報啓発を行い、住民への周知・啓発を行うことで、地域の取組に関心をもつ人を増やし、地域の福祉力アップを図ります。

● 広報紙「社協くさつ」発行事業

2,578,850 円

市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、回覧や全戸配布により、市社協事業や住民の福祉活動に関する情報発信を行いました。

- 令和7年 7月1日号 (No. 185) 【発行部数 4,400部 (回覧)】
- 令和7年 9月1日号 (No. 186) 【発行部数 58,800部】
- 令和7年 11月1日号 (No. 187) 【発行部数 58,800部】
- 令和8年 3月1日号 (No. 188) 【発行部数 58,800部】

【主な掲載記事】

市社協の運営に関すること	・令和6年度決算および令和7年度の主な事業 ・賛助会員、会費について ・理事、監事、評議員の交代 ・草津市社会福祉協議会70年の歩み ・社会福祉協議会紹介
地域・団体の活動に関すること	・ピカッと草津 ・ゆかい家レディースカフェ ・障害児者介護者リフレッシュ事業 ・地域支え合い運送支援事業ボランティア募集 ・志津南学区 女性の居場所ワークショップ ・草津手をつなぐ育成会 新年を祝うつどい 新成人を祝う会
ボランティアに関すること	・ボランティアグループ・地域サロン活動リスト、出前ボランティア一覧発行 ・福祉車両運転ボランティア募集 ・草津市ボランティア連絡協議会 ・ボランティアマルシェ、学生ボランティア募集 ・収集ボランティア ・福祉教育備品貸出、手引き発行 ・ボランティア登録、保険加入案内

	・ボランティアグループ活動紹介
地域サロンに 関すること	・地域サロンはじめてみませんか ・地域サロン備品貸出 ・まごころ便
災害ボランティアセ ンターに関すること	・災害ボランティアセンター運営協力者募集 ・災害ボランティアセンター運営訓練
赤い羽根共同募金に 関すること	・赤い羽根共同募金 ・歳末たすけあい見舞金
日本赤十字社に 関すること	・災害義援金・救援金の受付 ・赤十字活動のご紹介、団員募集 ・活動資金募集
講座・研修に 関すること	・福祉講座
その他市社協事業に 関すること	・草津市社会福祉協議会功労者表彰他表彰 ・電話訪問 ・フードドライブ事業 ・社協広報 ・HP 広告募集 ・草津市社会福祉協議会チューリップ事業 ・こどもの居場所サポート事業 ・寄付受付 ・オムツお渡し ・社会を明るくする運動 ・心配ごと相談 ・車いす貸出 ・まごころ便 ・70周年記念事業 ・心のこもった宝箱 ・草津市の素敵な物語

●「社協くさつ」点字版作成・配付事業

視覚障害があり、「社協くさつ」の点字版または墨字版の配付を希望される方に配布しました。点訳は「草津点字グループあゆみ会」に委託しました。

配付対象	配付先人数等	配付数
視覚障害者	4人	点字版16部
障害者福祉センター	1カ所	点字版4部 墨字版4部
草津市社会福祉協議会	1カ所	墨字版4部

●ホームページ運営事業

275,000円

市社協事業や地域での取組の情報発信や、ボランティアや寄付の募集を効果的に行うことができるよう、制作業者のノウハウを活用しながら内容の見直しを随時行い、使いやすさや見やすさの向上に努めました。

○ホームページアクセス総数 … 68,530件/年

●近所力アップ講座（出前講座）

地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民同士のつながりや地域福祉活動の大切さを伝えました。

学区等	開催日	内容	参加者
大路	令和7年 10月16日（木）	令和6年度能登半島地震災害ボランティアセンター運営支援を通して	20人

老上	11月18日(火)	災害ボランティアセンターの取組をととした日常的なつながりの大切さ	15人
草津市ボランティア連絡協議会	11月27日(木)	災害時における草津市社会福祉協議会と草津市ボランティア連絡協議会のかかわり	25人
草津市	12月2日(火)	生活支援サポーター養成講座	10人
滋賀県レイカディア大学	令和8年 3月11日(水)	滋賀県レイカディア大学ボランティア活動講座	25人

●「広報くさつ」点字版作成・配付事業

410,000 円

視覚障害があり、「広報くさつ」の点字版または墨字版の配付を希望される方に配布しました。点訳は「草津点字グループあゆみ会」に委託しました。

配付対象	配付先人数等	配付数
視覚障害者	3人(7月号から4人)	点字版45部
障害者福祉センター	1カ所	点字版12部 墨字版12部
草津市広報課	1カ所	墨字版12部

<関連する事業>

- ・福祉教育の推進
- ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発

(2) 若い世代に福祉風土を広げる

特に若い世代を対象に、福祉教育やボランティアのきっかけづくりに取り組むことで、小さいときから福祉を身近に感じてもらい、若年層の福祉風土を広げていきます。

●福祉講座活動実践事業

876,827 円

ボランティアの育成や活動実践をいっそう推進できるよう、従来の草津市福祉教養大学・大学院やボランティア活動支援事業等を統合して実施しました。

「地域福祉活動」をテーマとして福祉講座を開催し、地域における支え合いの大切さをお伝えしたうえで、ボランティアマルシェ等の行事に参加して活動を体験・実践できる一連の機会を提供することで、ボランティアの育成やボランティア活動の推進を実施しました。

・第1回福祉講座

第1回福祉講座第1講座目では、草津市社協70周年記念事業ともコラボし、公益財団法人さわやか福祉財団理事長 清水肇子さんから草津市の活動者に光をあて地域福祉活動の重要性を多くの市民に知ってもらう機会となりました。

また、第2講座目ではボランティアマルシェで学生と社会福祉法人(福祉事業所)から連携・協働した経験をお話いただき、福祉の専門職の魅力・やりがいを届けました。

学生からは、専門職と関わったことやボランティアに踏み出してみて変わった意識の変化をお話いただき、多くの市民に福祉観をもって社会に出ていくことの大切さを、知っていただく機会となりました。

	開催日	内容・講師	参加者
第1 講座目	令和7年 9月27日（土）	草津市社協設立70周年記念事業とコラボ 「支え合いの地域づくりを共に ～誰もが心温かく支え合い住み続けたい草津 市を目指して～」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団 理事長 清水 肇子さん	94人
第2 講座目	令和8年 2月5日（木）	「福祉事業所と学生ボランティアの目指す先 ～私たちは今、福祉の種をまいていく必要が ある～」 コーディネーター 武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福 祉学科 教授 松端 克文さん パネリスト 特別養護老人ホームやわらぎ苑 施設長 小山 大介さん 滋賀県立むれやま荘 所長 北川 弘さん 特別養護老人ホームえんゆうの郷 施設長 吉 久 洋平さん 学生ボランティア 龍谷大学社会学部現代福祉学科 内山 楓子さ ん 龍谷大学社会学部現代福祉学科 林 蒼さん 京都大学薬学部 植田 瑞希さん	52人

・ボランティアマルシェ

市社協の魅力の発信や新たなボランティア活動の発見づくり、ボランティアの活動の場を拡大することを目的として、ボランティアマルシェを実施しました。キラリエに立ち寄ったことのない方にもキラリエや市社協を知っていただく機会となりました。また、福祉人材の育成を目的に、モデル的な取組として、市内の社会福祉法人3団体にも協力いただき、最新の福祉機器や福祉の魅力等について発信しました。

開催日	令和7年6月14日（土） （キラリエ草津 4階）
参加者数	約600人
内容	①いろんな福祉に触れてみよう！ 点字体験（草津点字グループあゆみ会） 手話体験（手話サークルつばさ） 太鼓づくり（くさつ笑いヨガ） 組紐づくり（滋賀県立むれやま荘：法人連携ブース） ②知って得する介護の魅力（法人連携ブース） 車イス体験、介護リフト・ノーリフト体験、なりきり写真館（特別養護老人ホームやわらぎ苑） 高齢者疑似体験、介護食体験（特別養護老人ホームえんゆうの郷：法人連携ブース） ③みんなの好きを知ろう オリジナルカードづくり、思いを伝えるコーナー、鉄道検定クイズ（よもとカフェ） ④福祉のおみやげブース

	福祉クイズ魚釣り、バルーンアート、缶バッジづくり体験、笑いヨガ（くさつ笑いヨガ）
	⑤草津市社協啓発ブース 赤十字活動、心配ごと相談、ボランティアセンター、 チューリップ事業等
	⑥お楽しみブース ふくちゃんガチャガチャ販売、スタンプラリー景品交換

●草津市社会福祉協議会設立 70 周年記念式典

775,376 円

70 周年特別感謝状贈呈と社会福祉功労者表彰式典を同日に行いました。

- 式典開催日：令和 7 年 9 月 27 日（土）
- 開催場所：キラリエ草津 6 階大会議室

・70 周年特別感謝状贈呈

本会設立 70 周年にあたり、長年にわたり寄付いただいた個人・団体や、賛助会員として継続的にご協力いただいた団体、本会の事業やコロナ禍において多大なるご協力をいただいた個人・団体に感謝の意を表しました。（計 9 人、27 団体）

・社会福祉功労者表彰式典

長年にわたり地域福祉の推進に尽力された個人・団体を表彰するとともに、社会福祉の向上のためご寄付をされた個人・団体に感謝の意を表しました。（計 80 人、35 団体、1 校）また、「滋賀県共同募金会会長顕彰」として、長年にわたり共同募金運動の推進に尽力された個人・団体を表彰するとともに、赤い羽根共同募金運動に多額のご寄付をされた個人・団体に感謝の意を表しました。（計 1 人、4 団体）

【70 周年記念特別感謝状贈呈】

	内 容	被表彰者
70 周年 記念特別 感謝状	永年にわたり毎年継続して本会に多額の浄財を寄付いただき地域福祉の増進に大きく貢献された方	1 人
	永年にわたり毎年継続して本会に多額の浄財を寄付いただき地域福祉の増進に大きく貢献された団体	2 団体
	永年にわたり本会に多額の浄財を寄付いただき地域福祉の増進に大きく貢献された方々	3 人
	永年にわたり本会に多額の浄財を寄付いただき地域福祉の増進に大きく貢献された団体	4 団体
	永年にわたり賛助会員として本会の円滑な運営に多大な貢献をされた団体	5 団体
	本会のフードバンク事業において、多くの食品の寄付をいただき地域福祉の増進に大きく貢献された方々	5 人
	本会のフードバンク事業において、多くの食品の寄付をいただき地域福祉の増進に大きく貢献された団体	5 団体
	女性のくらしを応援するための取組に賛同いただき多くの物品を寄付をいただいた団体	4 団体
	コロナ禍において本会に多くの物品の寄付をいただき地域福祉の増進に大きく貢献された団体	7 団体

【社会福祉功労者表彰】

	内 容	被表彰者
表彰状	民生委員・児童委員として8年以上地域福祉活動の推進に寄与された方々	43人
	長年にわたり社会福祉協議会、社会福祉施設および民間社会福祉事業関係団体等の役員として地域福祉活動の推進に尽力された方々	6人
	長年にわたり率先して活動を行い、社会福祉活動の推進に寄与された方々	26人
	長年にわたり率先して活動を行い、社会福祉活動の推進に寄与された団体および企業	23団体
	長年にわたり社会福祉活動の推進に寄付をいただいた方	1人
	長年にわたり社会福祉活動の推進に寄付をいただいた団体	1団体
	福祉活動推進校として授業および活動等に尽力された学校	1校
感謝状	社会福祉の向上のため寄付をいただいた方々	4人
	社会福祉の向上のため寄付をいただいた団体	11団体

【滋賀県共同募金会会長顕彰】

	内 容	被表彰者
表彰状	長年にわたり共同募金運動の推進に尽力され本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された方々	1団体
感謝状	赤い羽根共同募金運動の趣旨に賛同して毎年寄付をされ本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された方々	1人
		3団体

●福祉教育の推進・ボランティア体験教室

23,193円

ボランティアや地域福祉活動の理解を広げるため、ボランティア体験教室や学校等の福祉教育を支援しました。また、小中学校のこども達への福祉教育の推進を目的として「福祉教育のてびき」を作成し、福祉教育の教材資料としてこどもや教師に配布しました。

	実施内容内訳						
	実施回数	手話体験	点字体験	盲導犬の理解	視覚障害者の理解	高齢者疑似体験等	車いす体験
幼・保	1	1	0	0	0	0	0
小学校	16	8	4	2	2	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0	0
高校	1	0	1	0	0	0	0
その他	8	1	2	0	1	4	0
計	26	10	7	2	3	4	0

＜関連する事業＞

- ・近所力アップ講座
- ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発

(3) 住民どうしが互いに見守り・気かけあう関係を広げる

住民どうしがつながり合い、お互いを見守り・気かけあう関係をつくることで、日々の生活や地域の困りごとに気づく人を増やし、地域の福祉力の向上に努めています。

●チューリップ事業（つながりサポート事業）

4,062,882 円

貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性が、社会の絆・つながりを回復することができるよう、生理用品や食料品の提供を通じて、対象者を必要な相談窓口や各種サービスにつなげるとともに、地域の支援者につなげました。また、連携会議や研修会を実施し、地域の生理用品提供先の追加や居場所づくり、草津市役所・キラリエ草津のトイレに40か所のぼり旗を設置し、さらに小中学校や市民、関係機関に向けて新たに作成したチラシ・ポスターを配布し、当事業について周知・啓発の強化を図るなど、施策連携・公民連携・地域連携の3連携による支援体制の強化を図りました。

【生理用品提供窓口一覧（22カ所）】 ◎…食糧品も提供

キラリエ内	男女共同参画センター、人権センター、◎草津市社協
市役所内	◎人とくらしのサポートセンター こども家庭若者課、家庭児童相談室、健康増進課、生活安心課
その他施設等	ハローワーク草津、草津市立障害者福祉センター、 発達支援センター、草津市立図書館、幼児課、フードバンク滋賀
企業	明治安田生命保険相互会社滋賀支社草津営業所
地域窓口拠点	◎草津学区社協活動拠点立ち寄りカフェゆかい家、◎志津南学区社協 活動拠点ふれあいハウス絆、志津まちづくりセンター、 新田会館、玉川まちづくりセンター、南笠東まちづくりセンター、 西一会館

○年間の提供数

- ・588セット（1セット＝昼用20個入り×1袋と夜用9個入り×1袋）
- ・72セット（1セット＝昼用20個入り×1袋と夜用18個入り×1袋）
- ・個包装・・・1,624個（キラリエおよび図書館の各トイレに設置）
- ・小中学校・・・17,195個（20校）

○関係機関会議・・・2回開催（21機関が参加）

○研修会・・・テーマ：「あなたの隣の『声にならない課題』 ～生理について知る・支える～ （参加者54名）」

○居場所づくり

<草津学区社協>

- ・レディースカフェ・・・週1～2回（年間計43回）開催
- ・ワークショップ・・・・・・計2回開催
 - ①スマホ教室・・・・・・参加者20名
 - ②フラワーアレンジメント教室
 - ・・・・・・参加者10名
- ・「明るい不登校の会」への会場提供協力
 - ・・・・・・計10回開催（参加延べ人数102人）

<志津南学区社協>

・ワークショップ・・・・・・・・・1回開催

①笑いヨガ体験・・・・・・・・・参加者39名（うち子ども7名）

○年間の寄付受付数

198袋（うち企業・関係機関：119袋、個人：79袋）

○地域の生理用品提供窓口、寄付受付窓口の追加

地域の提供窓口として、明治安田生命草津営業所が新たに生理用品の提供・寄付受付を開始しました。

○つながりサポート事業の周知・啓発強化

生理用品の提供を希望する人が周囲を気にせず意思表示ができるよう窓口等に卓上のぼり旗を設置していますが、当事業の更なる周知・啓発強化のために、草津市役所・さわやか保健センター・キラリエ草津の女子トイレとバリアフリースペースに40か所卓上のぼり旗を設置しました。視覚障害者が見やすいデザインを意識し、のぼり旗用台座にQRコードを貼り、コードを読み取ると生理用品の提供先窓口が表示される等適切な情報が利用者に届けられるよう工夫しました。

さらに、周知啓発の強化を目的として、新たにチラシとポスターを作成し、関係機関へ配布したことにより、地域や支援者の女性の貧困への意識の向上につなげることができました。

また、新たに協力機関となった明治安田生命と共同でチラシを作成し、同社の顧客や社員の皆様に向けて事業の周知を図っていただきました。

●社会を明るくする運動

104,221 円

法務省の主唱により、すべての国民が犯罪防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築く目的で各関係機関・各団体が運動に関する啓発と作文コンテストを実施しました。

○街頭啓発

草津駅、南草津駅にてのぼり旗を掲出し、啓発に取り組みました。

また、7月1日には草津駅・南草津駅前では協力団体とともに、啓発品を配布しながら、市民等に対して運動の意義を啓発しました。

協力団体

草津保護区草津支部保護司会、草津市青少年育成市民会議、草津市更生保護女性会、草津市BBS会、草津警察署生活安全課、草津市青少年補導委員会、草津市、草津市教育委員会、草津市学区・区社会福祉協議会会長会

○作文コンテスト

応募校：1校（笠縫小学校）

応募作品数：1点

●地域サロン活動支援

10,838,495 円

地域サロン活動を通して、高齢者の見守り活動を推進し、身近な場所で支え合う関係づくりの構築を目的として、高齢者の介護予防と自立を促進するためにサロン活動の拡充に努めました。

- 新たに設置された地域サロン 4 団体
 ○R7 年度末で活動終了した地域サロン 4 団体
 ○地域サロン訪問 7 件
 ○地域サロンとボランティアのコーディネート 31 件

【年度別サロン数】

令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
155サロン	154サロン	146サロン	157サロン

【地域サロン参加者・活動者状況】

	令和7年度	令和6年度
年間参加者延べ人数	69,464人	86,511人
年間運営ボランティア数	24,242人	22,274人

【学区別地域サロン開催状況】

区 分	地域サロン総数				年間対象者参加者数（人）		スタッフ数（人）		町内会数	設置割合
		内タイプ数			タイプ別	対象者参加合計	タイプ別	スタッフ合計		
				内新規	対象者参加者数		スタッフ数			
志 津	15	A	14	0	5,805	5,949	2,145	2,169	12	125.0%
		B	1	0	144		24			
志津南	9	A	8	0	6,508	6,554	1,834	1,876	14	64.3%
		B	1	0	46		42			
草 津	13	A	13	0	6,829	6,829	3,175	3,175	28	46.4%
		B	0	0	0		0			
大 路	14	A	11	0	6,219	6,461	1,285	1,319	27	51.9%
		B	3	1	242		34			
渋 川	11	A	9	0	2,189	2,280	978	1,019	17	64.7%
		B	2	0	91		41			
矢 倉	10	A	9	0	5,975	6,055	2,938	2,962	13	76.9%
		B	1	0	80		24			
老 上	9	A	7	0	5,816	6,177	900	952	9	100.0%
		B	2	0	361		52			
老上西	5	A	5	0	4,866	4,866	606	606	19	26.3%
		B	0	0	0		0			
玉 川	10	A	10	1	4,189	4,189	1,293	1,293	4	250.0%
		B	0	0	0		0			
南笠東	5	A	4	1	1,981	2,177	407	476	7	71.4%
		B	1	0	196		69			
山 田	16	A	14	0	5,193	5,373	2,224	2,270	14	114.3%
		B	2	0	180		46			
笠 縫	16	A	15	1	7,308	7,343	3,631	3,653	27	59.3%
		B	1	0	35		22			
笠縫東	9	A	6	0	1,341	1,745	720	1,078	16	56.3%
		B	3	0	404		358			
常 盤	13	A	9	0	3,065	3,466	1,254	1,394	16	81.3%
		B	4	0	401		140			
合 計	155	A	134	3	67,284	69,464	23,390	24,242	223	69.5%
		B	21	1	2,180		852			

※Aタイプ . . . 年間開催回数が20回以上
 Bタイプ . . . 年間開催回数が10～19回

●地域サロンの運営支援（交流会の実施）

70,196 円

地域サロンの運営関係者間で交流会を開催しました。今後のサロン運営の参考となるアイテム制作体験に加え、生バンドによる演奏鑑賞や手品の余興を実施しました。多彩なプログラムを通じて参加者にリラックスした雰囲気の中での関係構築を促進しました。

【交流会】

開催日	内容	参加者
令和8年 3月3日（火）	① ボランティアグループによるパフォーマンス OLU OLU HOA ハワイアンバンドによる南国の調べ よもやま劇場によるレーザーショー&マジック ②ネームホルダーづくり 参加者同士の会話を弾ませる実用的な工作体験	57名 40サロン

●「免疫力アップ！まごころ便」の実施

25,396 円

市社協設立70周年記念事業として、(株)木村牧場様の寄付により「免疫力アップ!! まごころ便」を実施しました。申し込みのあった54サロン（計1,142セット）へ明治R-1の飲み比べセットを直接届けました。

実施日	応援サロン数	個数
11月14日（金）～11月27日（木）	31サロン	673セット
12月1日（月）～12月18日（木）	23サロン	469セット
合計	54サロン	1,142セット

●ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり事業

100,000 円

「第7回ひきこもり支援を考えるフォーラム」

社会参加や対人交流に不安を抱え、自宅でひきこもり状態にある方への適切な支援について理解を深める場として、フォーラムを開催しました。開催にあたっては、湖南地域各市社協と滋賀県社協で湖南地域ひきこもり支援フォーラム実行委員会を設置し、支援技術の向上につなげることができるよう、市民や関係機関に広く周知して実施しました。民生委員・児童委員などの支援者をはじめ当事者家族など76名の参加があり、多くの方にひきこもりについて知っていただく機会となった。

開催日	内容・講師	参加者
令和8年 2月8日（日）	ひきこもりの経験から、感じたこと、考えたこと 講師：岡本 圭太さん 会場：栗東芸術文化会館さくら中ホール	76名

<関連する事業>

- ・近所力アップ講座
- ・福祉委員設置促進
- ・福祉資源循環事業（草津フードバンクセンター）
- ・善意銀行事業

基本目標 2 住民主体の活動づくり

～地域の困りごとを話し合い、未来に向けた人づくり・活動を考える～

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けての地域福祉力向上を図るため、人づくりと支えあう体制づくりを進めます。

(1) 小学校区を基盤とした地域福祉力の向上

身近な地域の集まりである町内会が所属する小学校区を、重要な地域のまとまりとして据え、小学校区の地域の特徴を踏まえた上で、地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展のため、その基礎をなす人づくり、支えあう体制をつくります。

(1-1) 地域福祉活動の担い手づくり **重点**

地域福祉を推進するため、各学区の地域福祉活動の基礎となる人づくりを、より一層進めます。

●地域福祉活動助成

3,640,000 円

地域の支えあい活動を推進するため、「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」「地域福祉関係団体間の交流」等の地域福祉活動を展開する補助金を学区社協へ交付しました。

また、個人・企業から集まった賛助会費について、地域の特徴を生かした学区社協活動へ助成を行いました。

●地域福祉活動推進事業助成金

174,800 円

地域住民や各種団体、福祉関係者等が連携しながら、複雑で多様な暮らしの問題への支援体制の充実や助け合い活動の強化を進めるため、生活支援活動の強化と健幸的な暮らしの強化といった2つの目的をもった助成金事業を実施しました。

＜地域の困りごとを解決する生活支援活性化助成金（上限 40,000 円/学区）＞

No.	学区	事業内容
1	草津	社会に踏み出す一歩に!!の活動支援
2	志津南	広報誌(医療福祉を考える会議の告知・啓発を含む)の発行
3	渋川	住民福祉活動計画を策定するにあたっての住民の困りごとを把握するためのアンケートの実施
4	矢倉	福祉事業者への駐車場確保活動

＜健幸的に活躍できるための活動備品等助成金(上限 20,000 円/学区)＞

No.	学区	事業内容
1	志津南	健康管理機器の設置
2	南笠東	健康管理機器の修理
3	矢倉	健康・脳トレ用備品購入

●福祉委員設置促進

「福祉委員の手引き」をもとに学区社協との協働により学習会を開催し、福祉委員活動が効果的に行われるよう支援しました。福祉委員活動をより円滑に進められるよう、希望される学区に市社協会長と学区社協会長の連名で委嘱状を交付しました。

【研修支援】

合計参加者：90人

No.	学区	開催日	内容	依頼団体	参加者
1	山田	令和7年 5月24日（土）	福祉委員の役割について	山田学区社協	13人
2	草津	6月9日（月）	地域の中での地域福祉協力委員とは	草津学区社協	18人
3	老上	6月26日（木）	福祉委員の役割について	老上学区社協	22人
4	笠縫	6月28日（土）	身近な地域福祉活動について	笠縫学区社協	37人

※市内合計12学区412人のうち、委嘱状交付学区は3学区・合計106人
（内訳）草津学区 28人 ・老上学区 22人 ・笠縫学区 56人

<関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員の配置と協議体の設置）
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・活動実践ボランティアグループ応援助成

（１－２） 地域で支えあう仕組みづくり **重点**

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けた地域福祉活動を進めていくことで、地域で支えあう仕組みを推進します。

●福祉資源循環事業

市社協が拠点となって、地域福祉活動の担い手をつなげ、他事業を通じて市内社会福祉法人との連携を推進することと併せて、当該事業において寄付物品等の活用に関する取組を実施し、地域福祉の推進を図りました。

上記の事業目的を達成するために、当該事業では、善意で寄せられた食糧品（草津フードバンクセンター）、車いすやおむつ等の寄付品を必要とする方に提供（福祉機器リサイクルなど）し、資源循環と福祉活動への貢献を行い、善意のつながりを広げました。

・草津フードバンクセンター

209,036 円

生活に困窮している世帯や住民同士の支え合い活動を実施する団体に対して、市社協（草津フードバンクセンター）にご寄付いただいた食糧を無償で提供し、地域福祉活動の推進に努めました。また、企業や個人にとっては、フードバンク事業への協力が社会貢献や地域福祉活動への参加・協力になるという善意の循環システムの構築を図りました。

事業実施にあたっては、関係機関の協力のもと、市民に身近な施設においてフードドライブを実施することができ、また、事業に賛同する企業のご厚意もあって、周知啓発や食糧の受け入れにつながりました。

【提供した施設等】

目的・施設の別	団体数
こどもたちなどを対象にしている団体・施設への支援	35 団体
学区社会福祉協議会・学区活動拠点等への支援	11 団体
高齢者施設	11 団体
障害者施設	22 団体
その他団体	2 団体
その他、生活に困窮されている世帯への緊急食糧支援	

【移動フードドライブ】

場 所	時 期
志津南学区社協活動拠点ふれあいハウス絆	常設
カフェほっこり	常設
新田会館	常設
山田まちづくりセンター	夏のフードドライブ期間 6/16～6/30 冬のフードドライブ期間 11/10～11/22
オムロン株式会社草津事業所	夏のフードドライブ期間 6/2～6/30 冬のフードドライブ期間 11/4～11/28
市役所2階 (健康福祉政策課内)	夏のフードドライブ期間 7/16～7/24 秋のフードドライブ期間 9/17～9/25 冬のフードドライブ期間 11/19～11/27
草津学区社協活動拠点立ち寄りカフェゆかい家	秋のフードドライブ期間 9/8～9/12
キラリエ草津 (エコライフフェア)	秋のフードドライブ期間 10/12
南笠東まちづくりセンター	秋のフードドライブ期間 10/14～10/31
矢倉小学校 (ふれあいまつり矢倉)	冬のフードドライブ期間 11/9
草津市立ロクハ公園 (志津ふれあい広場)	冬のフードドライブ期間 11/9 ※雨天により中止となったが、開催に向けた事前の周知啓発に協力いただいた。

【寄付食品、寄付者一覧】

期間		R6 年度 繰越	第1回 春	第2回 夏	第3回 秋	第4回 冬	第5回 冬以降	R6 度繰越、 第1～5回 合計
			4/1～ 4/30	5/1～ 7/31	8/1～ 10/31	11/1～ 12/31	1/1～3/31	
寄付食品	米	137 kg	66.94 kg	85 kg	226.5 kg	137.8 kg	265.8 kg	919.04 kg
	米以外	446 品	125 品	1,279 品	424 品	2,924 品	3,467 品	8,665 品

寄付者 (移動フードドライブ含む)	団体	個人	合計 (延べ)
	46 件	92 件	138 件

【米以外の寄付食品の内訳】

	米以外（品）												米以外
	乾 麵	乾 物	粉 類	缶 詰	レ ト ルト	食 用 油	ル ー	調 味 料	菓 子	飲 料	ビ ン 類	そ の 他	合 計 （ 品）
米以 外の 食品	415	285	57	1,229	496	69	55	499	3,374	639	48	1,499	8,665

・福祉機器リサイクル（貸出事業）

139,345 円

ケガや一定期間の外出などの事情により一時的に車いすが必要になった方に、車いすの貸出を行いました。貸出用車いすの一部はリサイクル品を活用し、資源の循環に資する取組として実施しました。

貸出備品	令和7年度	令和6年度	令和5年度
車いす	192回	182回	155回

市民の皆さまの善意により、ご寄付でいただいたリハビリパンツ・尿取りパッド・紙おむつを必要な方へお渡しました。

寄付数	配布数
633個	617個

●生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員の配置と協議体の設置）

22,404,000 円

○医療福祉を考える会議の支援

各学区に地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）を配置して、各学区における課題や取組について、地域住民と関係者がともに検討する「医療福祉を考える会議」の運営を支援しました。これまで未実施であった学区でも新たに取組が開始され、市内全14学区において「医療福祉を考える会議」を進めることができました。

また、同会議に関する周知・啓発を行うため、広報紙「社協くさつ」や市社協ホームページを活用して会議の様子や取組内容について情報発信を行いました。

学区・区	開始年度	令和7年度			延べ 本番会議 開催数
		主なテーマ	本番会議開催数 (会議開催にあたる 打合せ等の支援回数)		
志津	H 2 7	向こう三軒両隣 おたがいさまのまち志津を目指して、ひとりぐらし高齢者アンケート調査を実施	3 回	(1 0 0 回)	3 4 回
志津南	R 2	ピカッと草津※	1 回	(9 4 回)	6 回
草津	H 3 0	学区社協実施「立ち寄りカフェゆかい家保健室」の取組に向けて	2 回	(7 2 回)	8 回

大路	R 7	ピカッと草津※	0回	(130回)	—
渋川	H 2 7	住民福祉活動計画策定に向けて	0回	(93回)	19回
矢倉	H 2 7	ピカッと草津※ 孤独・孤立の現状を知って語る	2回	(108回)	16回
老上	H 2 4	ピカッと草津※ 学区社協の魅力発信	1回	(95回)	24回
老上西	H 2 4	老上西学区 有償ボランティア制度「おいにし hot けん」の活動を地域に広げていくためには	2回	(43回)	27回
玉川	H 2 9	各団体および町内会の取組・課題等について	1回	(55回)	17回
南笠東	H 2 8	誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進める	3回	(94回)	13回
山田	H 2 5	ピカッと草津※ ボランティアの魅力を伝える	0回	(86回)	26回
笠縫	H 2 8	気軽に立ち寄れる居場所づくり（保健室事業）	7回	(116回)	51回
笠縫東	H 2 4	ピカッと草津※・ゴミ出し問題	0回	(75回)	21回
常盤	H 2 7	学区で最期まで自分らしく生きるには	1回	(61回)	16回
合計			23回	(1,222回)	256回

※「ピカッと草津」…訪宅サービス事業所の駐車場所を地域内で提供しあう取組を通じて、地域の福祉意識の向上を図る取組を進めています。

○「ピカッと草津」の取組に関する内容説明

老上学区・山田学区・笠縫東学区の3学区のモデル事業から始まり、矢倉学区・志津南学区・大路区と拡大している「ピカッと草津」の取組について、関係機関会議等にて内容説明とともに、新聞からの取材にも対応し、取組の広報および周知・啓発に努めました。

No.	開催日・新聞掲載日	会議名・相手先・新聞社名	内容
1	令和7年 11月20日（木）	市民参加推進評価委員会	「ピカッと草津」について
2	12月28日（日）	読売新聞社会面掲載	〃
3	令和8年 1月19日（月）	評議委員会	〃
4	2月13日（金）	まちづくり協議会連合会	〃

5	3月6日（金）	京都新聞社会面と滋賀版に掲載	〃
6	3月14日（土）	産経新聞社会面掲載	〃
7	3月25日（水）	京都新聞コラム記事掲載	〃

○地域包括支援センター、市等との連携

地域支援の中心を担う各圏域地域包括支援センター・市・市社協が連携し、医療福祉を考える会議が効率的・効果的に進められるよう丁寧に事前調整を行いました。

また、地域包括支援センターが実施する地域ケア個別会議に随時参加し、生活支援コーディネーターとしての視点を用いながら多職種連携を深めるとともに、支援を必要とする高齢者のニーズの把握に努めました。

○市と市社協の連携強化

人とくらしのサポートセンターと随時調整会議を実施し、生活支援体制整備事業の展開について協議しました。

●地域支え合い運送支援

634,521 円

地域の活動団体が主体となって実施する移動困難者のボランティア運送支援事業の運営を支援するとともに、活動の普及を図るため、活動者および活動に関心のある市民を対象として安全運転講習を開催し、事業内容の説明や安全運転に関する啓発を行いました。また、広報紙やレイカディア大学、講座などでも周知啓発を行い、ボランティア募集に努めました。

【安全運転講習】

開催日	内容	参加者
令和8年 1月13日（火）	① 運転ボランティアのための安全運転講習会 講師：JAF 滋賀支部 廣瀬 隆一さん ② 福祉車両貸出事業と地域支え合い運送支援事業の現状報告について ③ ボランティア同士の交流会	24人

【事業実施状況】

	志津南		山田		老上・老上西		南笠東	
事業主体	志津南学区 まちづくり 協議会		山田学区 社会福祉協議会		老上学区・ 老上西学区 社会福祉協議会		南笠東学区 社会福祉協議会	
実施主体	志津南学区 社会福祉 協議会				老上送迎サポート		南笠東学区 まちづくり 協議会	
貸与車両	ダイハツ タント		トヨタ ヴィッツ		ダイハツ タント		ダイハツ タント	
実施年度	令和 7年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 6年度
利用 登録者数	43人	38人	21人	23人	86人	55人	183人	150人

延べ 送迎人数	128人	112人	188人	305人	127人	147人	371人	366人
送迎 ボラ人数	7人	7人	11人	11人	8人	8人	6人	5人
送迎日数	107日	102日	112日	124日	127日	147日	191日	175日
走行距離	1,632 km	1,539 km	2,140 km	1,735 km	1,169 km	1,306 km	5601 km	4,627Km
送迎先	近隣病院 地域の会館		まちづくりセンター 病院		近隣商業施設 近隣病院		近隣病院 公共施設 近隣商業施設	

●こどもの居場所支援事業

296,625 円

草津市が推進する市内のこどもの現状把握や居場所づくりの取組と連携し、こどもの居場所（こども食堂等）が安定的に確保されるよう、実施回数に応じた助成金を交付しました。

助成対象団体	食堂名	助成金の額
多文化共生支援センター	多文化子ども食堂	50,000 円
特定非営利活動法人 宅老所心	楽しい放課後 心	50,000 円
特定非営利活動法人 NPO子どもネットワークセンタ ー天気村	おいで子ども食堂	25,000 円
なかよし広場+にこにこレストラ ン運営委員会	なかよし広場+にこにこレストラン	12,500 円
まちのコミュニティハブ ツナグ	ツナグ食堂	37,500 円
しが健康医療生活協同組合	かさひがしっこ 子ども食堂	25,000 円
（公財）草津コミュニティ事業団 草津市立長寿の郷ロクハ荘	地域食堂 ロクハ「にっこりごはん時 間」	12,500 円
認定NPO法人くさつ未来プロジ ェクト	HOPE	50,000 円
山田学区社会福祉協議会・山田学 区民生委員児童委員協議会	キラキラキッチンやまだっ子	10,000 円
れもんのか草津保育園	にじいろ食堂	10,000 円

●関係団体への支援

243,600 円

関係団体が実施する事業に対し助成を行い、活動を支援しました。

助成対象団体	目的	助成金の額
草津市老人クラブ連合会	高齢者を対象とする健康増進事業に対 する助成により活動を支援	72,000 円
草津手をつなぐ育成会	共同作業所で働く知的障害者の社会参 加を促す交流や余暇活動への支援	40,000 円
肢体不自由児者父母の会	肢体不自由児者や知的障害児者の家族 の心身リフレッシュと介護者同士の交 流・情報交換への支援	38,000 円

草津市視覚障害者協会	中途視覚障害者を対象とする交流会事業等への支援	7,600 円
心身障害児者連絡協議会	スポーツを通じて健康の維持・増進と親睦、地域社会との交流を深めることへの支援	38,000 円
ボランティア連絡協議会	ボランティアグループの横のつながりをめざし、輪を広げ、福祉のまちづくりへの支援	48,000 円

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・高齢者への電話訪問事業
- ・福祉車両貸出
- ・社会福祉法人との連携
- ・善意銀行事業
- ・つながりサポート事業
- ・ボランティアセンターの運営と機能強化

(1-3) 住民福祉活動計画の推進

地域住民と市社協がともに、同じ理念のもと、地域福祉活動に取り組めるよう、各学区の課題を把握しながら、住民福祉活動計画を策定し、未来に向けた地域福祉の推進を図ります。

●地域福祉コーディネーターによる学区社協活動支援

14学区すべてに地域福祉コーディネーターを配置し、学区社協活動に参加・協力、支援をしてきました。医療福祉を考える会議では、打ち合わせ会議や振り返りの会議に参画し、住民が高齢者に関する生活問題について、専門機関と情報を共有し、新たな気付きが生まれ、地域福祉活動に広がりや深みができるよう支援しました。

学区・区	令和7年度 支援回数	主な支援内容
志 津	146回	・医療福祉を考える会議への支援 ・「ぷらっと茶屋」「くすのきレストラン」への支援
志津南	158回	・医療福祉を考える会議への支援・ふれあいハウス絆への支援
草 津	126回	・立ち寄りカフェゆかい家への支援 ・地域福祉協力委員研修会への支援 ・草津学区の健幸を語りあうプロジェクトへの支援
矢 倉	179回	・医療福祉を考える会議への支援 ・学区地域サロン交流会
大 路	165回	・医療福祉を考える会議への支援
渋 川	129回	・医療福祉を考える会議への支援
老 上	151回	・医療福祉を考える会議への支援 ・老上送迎サポートへの支援
老上西	79回	・医療福祉を考える会議への支援 ・老上送迎サポートへの支援 ・地域安心声掛け訓練への支援
玉 川	112回	・医療福祉を考える会議への支援 ・学区社協研修への支援
南笠東	140回	・地域支え合い運送支援事業への支援 ・健幸プロジェクトへの支援
山 田	121回	・医療福祉を考える会議への支援 ・福祉委員研修会への支援
笠 縫	168回	・医療福祉を考える会議への支援 ・ふれ愛おでかけ訓練への支援 ・福祉委員研修（担い手研修）への支援
笠縫東	106回	・医療福祉を考える会議への支援 ・ふれあいサロン（もちつき大会）への支援
常 盤	107回	・医療福祉を考える会議への支援 ・新たな学区社協活動に向けた協議への支援
計	1,887回	

<関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員の配置と協議体の設置）

（２） ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動を広めていくため、多種多様なニーズをつかみ、ボランティア活動につなげていくことで、ボランティア活動の充実を図ります。また、誰もが参加できるボランティアの仕組みづくりを進めることで、ボランティアの輪を広めます。

（２－１） 若い世代のボランティア活動のきっかけづくり 重点

ボランティアの高齢化が進む中、若い世代にボランティア活動に関心をもってもらい、ボランティア活動に参加してもらえるよう、ボランティアの魅力発信や、こどもや保護者が参加しやすいボランティア活動を広げる等、きっかけづくりを進めます。

●収集ボランティア啓発

6,050 円

身近にできるボランティア活動として、使用済み切手、カード、書き損じはがき、プルトップ、ペットボトルキャップなどの収集の啓発に努めました。

【収集実績】

収集物	令和 7 年度	令和 6 年度
使用済み切手	9 2 件	9 7 件
使用済みカード	0 件 0 枚	1 件 7 枚
書き損じはがき	1 件 3 枚	1 件 3 2 枚
ペットボトル キャップ	3 7 0 件 2 5 0 3 . 3 8 kg	3 8 2 件 2 5 9 1 . 2 2 kg
プルトップ	1 7 5 件 2 6 9 . 2 2 kg	1 7 5 件 2 5 2 . 5 6 kg

【協力団体（延べ数）】

幼・保育園・こども園	1 6 件	学校	1 1 件
まちづくりセンター	7 4 件	まちづくり協議会	1 件
企業	5 6 件	ボランティア団体	5 件
地域サロン	9 件	市役所	1 5 件
民児協	1 6 件	学区・区社協	2 件
個人	2 1 4 件	その他	3 7 件
会館	7 件		

●若い世代のボランティア活動のきっかけづくり※

「1日ボランティア体験」をテーマに、ボランティアマルシェの運営ボランティアを募りました。参加を通じて「ボランティアの楽しさ」を体感してもらうとともに、草津市ボランティアセンターの周知と、次なる活動への一歩を後押しすることを目的としました。当日は、地域の将来を担う高校生・大学生計39名が運営スタッフとして参画し、事前準備を行う「ボラ活 enjoy 会」から意欲的に取り組み、当日は着ぐるみやバルーンアートでの盛り上

げに加え、市内3社会福祉法人との連携による車いす体験や組紐体験の補助など、多角的な視点からイベント運営に尽力いただきました。イベント終了後には学生交流会を実施し、学校の枠を超えた貴重な対話の場を提供しました。ボランティアに関する真摯な意見交換等を通じて、参加者のボランティア意識の更なる醸成を図る機会となりました。

※事業費については、福祉講座活動実践事業に含む。

<関連する事業>

- ・福祉講座活動実践事業
- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・共同募金活動助成
- ・災害ボランティアセンター
- ・福祉教育の推進

(2-2) 新たなボランティア発掘の仕組みづくり 重点

ボランティアの魅力を知り、ボランティアに関心をもつ人を増やしていく仕組みづくりを進めることで、さらなるボランティアの輪を広めます。

●活動実践ボランティアグループ応援助成

0 円

福祉講座を全日程受講（令和7年度については、草津市福祉教養大学を卒業）かつ実践の場であるボランティアマルシェに参加した方々に、講座と実践の場で学んだ成果を発揮していただけるように組織化を目指しました。教養大学卒業生へマルシェへの参画を呼び掛けた結果、6名が参加し、グループ結成の段階には至らなかったものの、事前準備や交流会を通じてボランティア間の連携体制を構築することができました。また、その後開催されたキラリエクリスマスへの継続的な参加にも繋がり、活動の持続的な発展に向けた動機付けとなりました。

●ボランティアグループ・地域サロン活動リスト/出前ボランティア一覧 作成

186,890 円

ボランティアグループ・地域サロン間での情報共有や活動の活性化、ボランティアの仲間づくりに活用していただくツールとして、ボランティアグループ・地域サロン活動リストを作成しました。

地域からの出前希望に対応できるボランティアグループの紹介とボランティア活動の場の提供、活動の促進を目的として、出前ボランティア一覧を作成しました。

	ボランティアグループ・ 地域サロン活動リスト	出前ボランティア一覧
作成部数	150部	310部
配布先	草津市コミュニティ事業団、 地域まちづくりセンター 学区社協、学区民児協、市役所、 地域包括支援センター、 図書館、隣保館、市内福祉施設等	草津市コミュニティ事業団、 地域まちづくりセンター、 地域サロン、学区社協、学区民児協、 幼稚園・保育園・こども園、 小・中学校、市内福祉施設、 図書館、隣保館等

<関連する事業>

- ・福祉講座活動実践事業
- ・収集ボランティア啓発
- ・福祉資源循環事業（草津フードバンクセンター）
- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・福祉教育の推進
- ・災害ボランティアセンター
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり

（２－３） 誰もが参加できるボランティアの仕組みづくり

誰もが参加でき、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動の仕組みと、参加した人が社会貢献を実感してもらえる仕組みづくりを進めます。

●高齢者への電話訪問

145,659 円

65歳以上の一人暮らしや昼間独居の高齢者で話し相手を希望する方に、傾聴ボランティアが電話訪問することで、孤立や孤独に陥らないように、民生委員・児童委員と連携して支援しました。また、心配ごと相談所の相談員にも年4回（6、9、12、3月）連絡会へ参加いただき、互いの事業理解を深めるとともに、関係構築を図りました。

○利用者：17人

○傾聴ボランティア：11人

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
電話訪問回数	179回	153回	185回	279回	270回	227回

●災害ボランティアセンター事業

251,816 円

災害時に設置する災害ボランティアセンターを円滑に運営できるよう運営訓練を実施しました。訓練検討委員会を2回、運営協議会を1回開催し、会議の中で各班の業務内容等の確認、シミュレーションを行い、運営方法を検討しました。参加募集人数を100人とし、災害ボランティアセンター運営協議会構成団体を中心に、地域で防災に関わる方にも参加を呼びかけました。さらに、職員でもシミュレーションをすることで運営時の体制を確認しました。

また、草津市、草津青年会議所および市社協の三者で「災害時の被災者支援に関する相互協力協定」を締結していることから、日頃からの協力体制を高めていくために、三者で協力し、災害ボランティアセンターについての研修会を開催しました。

【運営訓練検討委員会】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和7年 10月8日（水）	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練（案）について	12人
第2回	11月13日（木）	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練（案）について ・訓練のシミュレーション	12人

【運営協議会】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和7年 12月12日（金）	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練（案）について	17人

【災害ボランティアセンター研修会】

開催日	内容	参加者
令和7年 12月18日（木）	・「DWAT から見た日常的な地域のつながりの大切さ～能登半島地震・能登豪雨災害を通して～」（草津市基幹相談支援センター 中村宗寛氏）	85人

【災害ボランティアセンター運営訓練】

開催日	参加者
令和8年 1月24日（土）	運営協力ボランティア、SeRV 滋賀、滋賀県共同募金会、町内防災委員、学区まちづくり協議会、学区社会福祉協議会、学区民生委員児童委員協議会、草津市赤十字奉仕団、青年会議所、老人クラブ連合会、草津 Y クラブ、草津市ボランティアコーディネーター会、草津市更生保護女性会、草津市ボランティア連絡協議会、草津市コミュニティ事業団、草津市役所、滋賀県社会福祉協議会、草津市社会福祉協議会他84人

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・ボランティアグループ活動助成
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり
- ・福祉講座活動実践事業
- ・福祉教育の推進
- ・収集ボランティア啓発
- ・福祉資源循環事業（草津フードバンクセンター）

基本目標3 新たな絆をつむぐまちづくり

いきいきと楽しく活動する場と、活動する人たちの輪を広げるため、地域や福祉という分野にとらわれず、多種多様な新たなつながりづくりを進めていきます。

(1) 地域を超えたつながりづくり

小学校区内にとどまらず、地域で活動する人たちのつながりをつむぎ、小学校区内という地域を超えたつながりを進め、活動の輪を広めます。

●市ボランティア連絡協議会活動助成

48,000 円

ボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を支援しました。

○加入グループ 35グループ（会員数571人）

○役員会・総会・交流会等の支援

総会や代表者会議、交流会に向け準備し、出席しました。

本会ホームページに市ボランティア連絡協議会ページを作成し、機関誌等の掲載を行いました。

開催日	会議の種類	内容	参加者
令和7年 4月23日（水）	代表者 会議	・令和7年事業計画（案）について ・令和6年度会計予算（案）について ・令和6年度会計決算報告について ・令和7年度登録団体 ・活動経過報告、今後の予定	25人
5月21日（水）	第39回 総会	・令和6年度事業報告および会計報告 ・令和7年度事業計画（案）および会計予算（案） ・役員紹介 ・各委員への輩出	22団体 11団体 委任状
8月20日（水）	代表者 会議	・経過報告、今後の予定 ・市社協会長表彰推薦団体について ・交流会について	19人
9月24日（水）	会員 交流会	5団体発表	42人
10月15（水）	代表者 会議	・研修会について ・新年交流会について	15人
11月27日（木）	会員 研修会	・日頃の備えと行政との連携 ・災害時における草津市社会福祉協議と草津市ボランティア連絡協議会とのかわりの大切さ	22人
令和8年 1月22日（木）	新年会員 交流会	・健康講座 日常の健康管理 ・お互いを知ろう 会員交流	22人
3月25日（水）	代表者 会議	・令和8年度活動計画について ・令和7年度活動報告・会計決算について ・令和8年度代表者会議について	18人

●ボランティア保険加入促進

44,700 円

ボランティア活動が安心して行えるよう「ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償する」ボランティア活動保険の加入を促進しました。

保 険 種 類	令和 7 年度	令和 6 年度
ボランティア活動保険 基本プラン	3, 2 4 1 人	3, 2 2 3 人
天災プラン	1, 1 5 1 人	4 3 9 人
連協加入	4 4 7 人	4 8 5 人
ボランティア行事用保険	3 2 5 件	2 9 7 件
送迎サービス保険	1 件	2 件
福祉サービス総合保障	1 9 件	2 1 件

●福祉車両貸出事業

836,811 円

家庭の事情や身体状況などにより、病院などへの送迎が必要な方に対して福祉車両を貸出すことにより、登録いただいている運転ボランティアに送迎を依頼し、安心・安定した生活を送ることができるよう支援しました。

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
運転ボランティア数	1 4 人	1 2 人	1 3 人
登録者数 (貸出利用含む)	4 9 人	4 3 人	2 4 人
送迎対応件数	3 8 8 回	3 3 4 回	3 2 7 回

●社会福祉法人との連携

81,786 円

草津市内の社会福祉法人同士の連携・協働について話し合いを行いました。業務の困りごとや人材育成、発掘の悩み等を共有し、連携する取組や地域の活動に参加・協力する中で、専門職のやりがいを実感できるような仕組みづくりを共にできないか、協力いただくコメンターから意見をいただき、検討を進めてきました。

その結果、共通の課題として共有した「福祉人材不足」「業務が煩雑で忙しい」に対して、福祉業界全体で連携を図りながら取り組む必要性の共有を図った上で、福祉人材の育成を目指した試験的な取組を実施しました。

具体的には、ボランティアマルシェ内に 3 法人と、3 法人の呼びかけで協力いただいた 2 企業がコラボし、社会福祉法人連携ブースとして出展し、当日協力いただいた学生ボランティアや来場者に対して、介護用リフトや車いす体験、障害者が教える組紐体験等を行い、福祉を知ってもらうだけでなく福祉専門職の魅力を伝える取組をしました。

また、福祉業界全体の課題である「福祉人材の不足」や「業務上の悩みの共有」を進めていくために、参加法人等の拡大を図り、これまでの 10 法人から、19 法人に参加法人・事業所へと拡大しました。

開催日	内容	参加者
令和 7 年 7 月 1 8 日 (金)	・福祉人材育成の試験的取組の報告	7 法人 (欠席 3 法人) (市社協 3 名出席)
1 2 月 8 日 (月)	・令和 8 年度以降の社会福祉法人連携会議での取組内容 (福祉人材の育成と業務上の困り事の共有) について ・参加法人・事業所の拡大について	9 法人 (欠席 1 法人) (市社協 3 名出席)

＜関連する事業＞

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員の配置と協議体の設置）

（２） 分野を超えたつながりづくり **重点**

福祉にとどまらず、地域の企業や学校、各種団体などをつなぎ、連携を図ることと、地域の課題や地域の活動について協働で行う取組を進めます。

●善意銀行の活用と運用、寄付金の募集

寄付金の増収および地域住民が気軽に参加・協力できる地域福祉の推進を図るため、企業が提供する名刺に対し、一定の割合で企業等が売り上げの一部を当会に寄付する「寄付付き名刺」を発行しました。

社会福祉全般における市民からいただいた善意の寄付金・物品は、善意銀行事業として社会福祉施設、社会福祉団体や援助の必要な人のために役立てました。また、ボランティア基金に寄せられた寄付は、ボランティアセンター運営にかかる事業実施に活用しました。

さらに、いただいた寄付金を広報紙・ホームページに掲載し、寄付金募集の啓発に努めました。

【寄付金状況】

寄付名	令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	寄付金額		寄付金額		寄付金額		寄付金額	
市社協が行う各地域福祉事業	54 件	571,982 円	44 件	916,635 円	46 件	1,632,084 円	41 件	586,167 円
ボランティア基金事業	2 件	52,000 円	4 件	94,950 円	3 件	1,200 円	3 件	3,044 円
善意銀行	8 件	78,924 円	5 件	50,176 円	6 件	416,454 円	7 件	612,000 円
計	64 件	702,906 円	53 件	1,061,761 円	55 件	2,049,738 円	51 件	1,201,211 円

＜関連する事業＞

- ・社会福祉法人との連携
- ・ボランティアセンター運営と機能強化
- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員の配置と協議体の設置）
- ・ボランティア連絡協議会助成
- ・ボランティア連絡協議会加入促進
- ・福祉資源循環事業（草津フードバンクセンター）

Ⅱ. 市社協が取り組む福祉の基盤づくり ～地域福祉活動発展計画～

基本目標 **地域で安心して暮らしつづけることのできる体制づくり**

(1) 地域福祉活動支援の推進

学区社協をはじめとする地域で活動する人や団体の支援を行うことで、地域福祉活動を活性化し、誰もが安心して暮らせる体制をめざします。

(1-1) 学区社協をはじめとした地域福祉活動支援 **重点**

地域福祉の推進に欠かせない学区社協をはじめ、地域で活動する団体等に地域福祉のプラットフォームとしての役割を発揮し、ともに地域福祉活動を展開します。

●学区社協会長会の実施（学区社協便覧の作成等）

486,079 円

学区社協会長同士の情報交換や、福祉のまちづくりを推進することを目的に会議を実施しました。

その他、学区社協便覧の作成や、医療福祉を考える会議の進捗状況などをテーマとして意見交換の場を持ち、会長同士が積極的に情報交換できるよう努めました。

また、9月度と2月度は学区社協事務局長等会議と合同で実施し、会長だけでなく、会長を支える事務局長にも今後活用いただけるような情報等を知っていただき、学区社会福祉協議会活動がより充実したものとなるよう支援しました。

○学区社協会長会

開催日	主 な 協 議 内 容
令和7年 4月21日（月）	・令和7年度草津市健康福祉部・こども未来部の職員紹介 ・令和7年度草津市社協事務局の職員紹介 ・高齢者等ごみ出し支援事業について（人とからしのサポートセンターより） ・他機関委員会の委嘱について ・福祉委員の委嘱について ・「移動フードドライブ事業」に関するアンケートについて ・令和7年度草津市社会福祉協議会会長表彰の候補者の推薦について ・民間助成事業の案内について ・地域福祉活動推進事業補助金について ・令和7年度各学区・区社会福祉協議会の総会について ・令和7年度版草津市学区・区社会福祉協議会便覧の提出について ・「ソーシャルスキルトレーニング講座」について
5月20日（火）	・学区・区社協会長会会長、副会長の選任について ・草津市社会福祉協議会次期理事・評議員候補の推薦について ・他機関委員の委嘱について

	・地域福祉活動推進事業補助金について ・令和7年度版草津市学区・区社会福祉協議会便覧の提出について ・令和7年度社会福祉協議会一般会費・賛助会費の御協力について ・令和7年度滋賀県社会福祉協議会縁特別会員会費の分担金について ・草津市社協「移動フードドライブ事業」について ・敬老会について ・草津市社会福祉協議会こどもの居場所サポート事業について ・「第75回社会を明るくする運動」の街頭啓発（予定）について ・民間助成事業の案内について ・「ボランティアマルシェ」について
6月20日（金）	・地域懇談会の開催について ・令和7年度赤い羽根共同募金運動について ・令和7年度地域サロン活動支援事業費補助金の交付について ・「第75回社会を明るくする運動」街頭啓発活動の実施について ・民間助成事業の案内について ・令和7年度 2月度学区社協会長会・第1回学区社会福祉協議会事務局長等会議 合同会議の日程変更について ・令和7年度版「高齢者をささえるしくみ」について ・株式会社王将フードサービスによる「お子様弁当」寄贈について
7月22日（火）	・研修会 演題：「地域福祉に関するアンケート調査結果について」 講師：草津市健康福祉政策課 専門員 増田 高志さん ・地域懇談会の日程について ・各学区での歳末たすけあい街頭募金運動（予定）について ・敬老会について ・地域福祉活動推進事業助成金の申請状況について ・草津市社会福祉協議会70周年記念事業 学区・区社会福祉協議会活動啓発パネルの展示について ・食中毒注意報について
8月20日（水）	・草津市社会福祉協議会設立70周年記念事業について ・令和7年度共同募金運動について ・一般会費納入依頼について ・令和7年度賛助会費募集日程について ・令和7年度 つながりサポート事業（チューリップ事業）研修会について ・フードバンクセンター事業について ・敬老会式典における緊急連絡先について ・民間助成事業の案内について
9月22日（月） （学区社協事務局長等 会議との合同会議）	・歳末たすけあい子ども支援事業助成について ・令和7年度地域懇談会について ・地域福祉活動推進事業助成金の申請状況について ・意見交換「他学区社協に聞いてみたいこと」
10月20日（月）	・実習生紹介 ・令和7年度「災害ボランティアセンター研修会」について ・地域福祉活動推進事業助成金の申請状況について ・民間助成事業の案内について ・草津市14学区社協会長に聞きたいこと・知りたいこと（実習生より） ①若者の担い手について

	②学区社協の全体の活動と学区社協会長として大切にしていること ③これからの学区社協のあり方、将来のビジョンについて ・赤い羽根共同募金について ・歳末たすけあい子ども支援事業助成について ・草津市社会福祉協議会理事会・評議員会の日程について
11月20日（木）	・令和7年度「社会福祉事業功労者に対する厚生労働大臣表彰」被表彰者の決定について ・草津市災害ボランティアセンターについて ・令和7年度「運転ボランティアのための安全運転講習会」について ・令和7年度歳末たすけあい募金運動 街頭募金の実施報告について ・地域福祉活動推進事業助成金の申請状況について ・第1回福祉講座について ・学区社協事業の周知・啓発に伴うフリーイラストの使用について
令和8年 1月20日（火）	・令和7年度赤い羽根共同募金の実績報告について ・一般会費・賛助会費の報告とお礼について ・令和7年度地域福祉活動推進事業助成金の助成結果について ・2月度学区社協会長会・第2回学区社会福祉協議会事務局長等会議 合同会議の開催について ・組織の代表者を名乗った詐欺メールについて ・草津市災害ボランティアセンター運営訓練について ・第1回福祉講座について ・「第7回ひきこもり支援を考えるフォーラム」について ・字幕付き映画「猫と私と、もう1人のネコ」上映会への協力について
2月18日（水） （学区社協事務局長等 会議との合同会議）	・行政相談委員について（草津市行政相談委員より） ・草津市社会福祉協議会心配ごと相談所について ・学区社協関係補助金について ・令和8年度版草津市学区・区社会福祉協議会便覧の提出について ・令和7年度地域サロン事業報告書および令和8年度地域サロン事業計画書の提出について ・令和8年度学区社協会長会の日程について ・各学区社協の総会について ・第4回草津市社会福祉協議会理事会および第3回草津市共同募金委員会理事会について ・第3回草津市社会福祉協議会評議員会および第2回草津市共同募金委員会評議員会について ・令和8年度ボランティア活動保険加入について

●地域福祉活動推進の支援強化

258,614 円

市社協が草津市地域福祉活動計画に基づき、より良い事業展開をしていくため、地域における福祉活動の取組状況の把握と、計画の進捗管理を行うとともに、次年度に改定予定の第5次草津市地域福祉活動計画に反映させるポイントについて協議を行いました。

【会議開催一覧】

開催日	会議名	内容
令和8年 1月30日（金）	第1回 策定委員会	（第4次草津市地域福祉活動計画の第Ⅰ部を中心に） ・第4次草津市地域福祉活動計画の中間評価を踏まえた取組の進捗状況 ・第5次草津市地域福祉活動計画に反映すべきポイント
3月9日（月）	第2回 策定委員会	（第4次草津市地域福祉活動計画の第Ⅱ部を中心に） ・第4次草津市地域福祉活動計画の中間評価を踏まえた取組の進捗状況 ・第5次草津市地域福祉活動計画に反映すべきポイント

＜関連する事業＞

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員の配置と協議体の設置）
- ・地域福祉活動助成

（1－2） 小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携

地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員との連携・活動支援とともに、地域住民の困りごと等を地域の課題として捉え、新たな事業構築などの地域福祉の推進につなげます。

●草津市民生委員児童委員協議会事務局

毎月1回総務会、必要に応じ総務委員会を開催し、関係機関・団体などからの情報提供や協議を実施しました。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が有効に機能するように支援し、職員の学区担当制による情報提供やアドバイスを行い、個別援助活動が円滑にできるように支援・協力をしました。

【専門部会・委員会・連絡会活動の支援】

部会・委員会・連絡会名	主な活動内容
地域福祉部会	・「自殺予防と民生委員・児童委員の関わり方について」をテーマに研修会の実施 ・単位民児協活動の活性化を図るため、交換民児協の結果のフィードバック
高齢者福祉部会	2つの研修会を実施 ・草津市の認知症施策アクション・プランについて ・権利擁護と成年後見制度について
障害福祉部会	・第40回草津市いきいきふれあい大運動会への参加・協力 ・「災害について」「DWATの活動から見る災害時の障害者の現状と備え」をテーマに研修会を実施 ・若竹福祉総合学院にて見学研修会の実施 ・「ふくふくサロン」への参加・協力
児童福祉部会	・「草津市の不登校支援について、現状と課題とフリースクール授業料の補助について」学ぶ研修会の実施 ・児童養護施設 湘南学園にて現地研修の実施 ・性教育講座「子どもの幸せを守る教育」を学ぶ研修会の実施
人権・同和部会	・部落解放運動の現状と差別の実態について学ぶ研修会の実施 ・水平社博物館にて見学研修会の実施

広 報 委 員 会	・事例集「光もとめて」、広報紙「こぼと」の発行 ・より良い広報・啓発を行うため研修会の実施 ・市社協ホームページ内の民児協のページをリニューアル ・市役所にて民児協活動についてのパネル展示
研 修 委 員 会	・総会研修の実施 ・全員研修の実施（びわ湖大津プリンスホテル）
主任児童委員連絡会	・乳幼児健診（１０か月健診）の見守り ・小中学校との懇談会の実施 ・講師を招いた研修会の実施

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活つなぎ資金貸付
- ・生活福祉資金貸付

（１－３） ボランティアセンターの機能強化 **重点**

ボランティアニーズの把握や、マッチング機能、ボランティアの養成や魅力のPR等、ボランティアセンターとして必要な機能を強化し、ボランティアセンターがより一層ボランティア活動の拠点となるよう取り組みます。

●ボランティアセンター運営

538,402 円

地域で活躍されているボランティアグループ・個人ボランティアへの援助相談に応じ、ボランティア活動の活性化を図りました。また、ボランティアの支援を必要とされている方とセンター登録されているボランティアのコーディネートを行いました。

【登録ボランティアの推移】

年度	ボランティアグループ		個人 ボラン ティア	合計登録人数
	グループ数	人数		
令和７年度	３３８団体	６，３０７人	７０人	６，３７７人
令和６年度	３４８団体	６，１９３人	５３人	６，２４６人
令和５年度	３４６団体	６，０７０人	６７人	６，１３７人

【ボランティアコーディネート】

内容	件数
ボランティア調整	２１４件
ボランティア相談	５０件
福祉教育	１４件
福祉教育貸出備品（V調整含めず）	９件
レイカディア大学調整	１２件
合計	２９９件

【ボランティア活動活性化助成金】

団体数	令和7年度
	83団体

＜関連する事業＞

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・福祉講座活動実践事業
- ・収集ボランティア啓発
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり
- ・災害ボランティアセンター
- ・活動実践ボランティアグループ応援助成
- ・ボランティア連絡協議会助成
- ・ボランティア連絡協議会加入促進
- ・ボランティア活動支援

（１－４） 企業等との連携・ネットワークの構築

企業や学校、福祉事業所等、地域にある様々な団体等と、市社協が率先して連携を図り、かつ地域福祉活動の魅力などを情報発信していくことで、様々な団体と地域活動が連携を図るきっかけとし、様々なネットワークの構築へつなげます。

●草津市社会福祉協議会設立70周年記念事業

設立70周年を迎えるにあたり、長年にわたり本会に関わってくださった皆さまへ感謝の思いをお伝えする記念式典を開催しました。式典では、これまでの歩みを共有するとともに、これからの地域福祉をともに創っていくためのプログラムを行い、未来へ向けた一步を確認する機会となりました。

また、記念式典以外に70周年記念事業として、学区社協啓発パネルを市役所やボランティアマルシェで展示し、社協の啓発に努めました。

- 式典開催日：令和7年9月27日（土）
- 開催場所：キラリエ草津 6階大会議室
- 式典司会：宇野 ひとみさん

	内容
第1部 表彰式	○草津市社会福祉協議会設立70周年記念特別感謝状贈呈式 ○令和7年度草津市社会福祉功労者表彰式
第2部 記念セレモニー	○草津市社会福祉協議会70年のあゆみ（動画） ○草津市社会福祉協議会の「未来へはばたく物語」 ～ラストボランティアフェスティバル タイムカプセル開封式～ 協力：朗読ボランティア Bush Clover 玉川
第3部 記念講演	演題：「支え合いの地域づくりを共に ～誰もが心温かく支え合い住み続けたい草津市を目指して～」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団 理事長 清水 肇子さん
その他	・市社協70年の年表パネルの展示 ・市社協啓発パネルの展示 ・学区社協啓発パネルの展示 ・心のこもったボランティア活動事例、草津市の素敵な物語事例展示

※社協くさつ11月1日号（No. 187） 70周年特別記念号発刊

●市社協会費

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般 会員	31,562 世帯 4,734,350 円	31,745 世帯 4,761,800 円	31,728 世帯 4,759,200 円	31,939 世帯 4,790,900 円	30,962 世帯 4,639,800 円
賛助 会員	442 社 2,820,000 円	452 社 2,820,000 円	465 社 2,875,000 円	456 社 2,875,000 円	460 社 2,878,000 円
計	7,554,350 円	7,581,800 円	7,634,200 円	7,665,900 円	7,517,800 円

※令和3年度から、賛助会員数で記載

<関連する事業>

- ・まごころ便
- ・社会法人との連携
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・草津市民生委員児童委員協議会事務局
- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・チューリップ事業（つながりサポート事業）
- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員の配置と協議体の設置）

（２） 個別援助活動の充実

貧困・孤立・孤独等を防ぎ、相談内容を受け止めることができる相談体制を構築しつつ、様々な関係団体と連携を図ることで、住民に安心を届けます。

（２－１） 包括的な相談体制の構築 **重点**

- 心配ごと相談所の周知・啓発を強化し、すべての人の相談に対応します。
- 生活福祉資金貸付をはじめ、個々の問題を受け止められる相談者として、研修に参加する等、職員の相談能力の向上を図り、相談体制を強化します。
- 民生委員・児童委員をはじめ、人とくらしのサポートセンター等の各種相談機関との連携を強化し、相談を受け止め、切れ目のない支援が行える体制づくりを進めます。

●生活つなぎ資金貸付

1,014,282 円

民生委員・児童委員や人とくらしのサポートセンター、市関係各課と連携し、一時的に生活困難な状態に陥った世帯が再び安定した生活に戻れるまでの間をつなぐため、生活つなぎ資金を貸し付けました。

【貸付相談件数】

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
貸付相談件数	87件	77件	46件	63件	37件

【貸付状況】

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
貸付件数	19件	45件	32件	51件	32件
貸付額	940,000 円	1,802,000 円	1,460,000 円	2,220,000 円	1,300,000 円

●生活福祉資金貸付

22,387,028 円

滋賀県社協が実施している生活福祉資金の貸付相談や手続きを行うための職員を配置し、生活困窮者に対する相談支援を実施しました。令和5年度に貸付が終了し償還が開始している新型コロナウイルス特例貸付については、債権管理及びフォローアップとして相談員を設置し、継続して相談支援を行いました。相談者一人ひとりにきめ細やかな対応を行うとともに、市に設置されている人とからしのサポートセンターとも連携しながら、切れ目のない支援に努めました。

【貸付相談件数】（単位：件）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
貸付相談件数	569	464	973	321	865

【貸付件数】（単位：件）

	新型コロナウイルス 特例貸付			総合 支援 資金	福祉資金		教育 支援 資金	不動産担 保型 生活 資金	臨時 特例 つなぎ 資金	生活 復興 支援 資金	合計
	緊急 小口 資金	総合 支援 資金	延長、 再貸付 申請等		緊急 小口 資金	福祉費					
令和7年度	0	0	0	0	6	12	28	0	0	0	46
令和6年度	0	0	0	0	5	8	33	0	0	0	46
令和5年度	0	0	0	0	8	6	11	0	0	0	25
令和4年度	140	136	0	0	16	8	21	0	0	0	321
令和3年度	662	681	1,048	0	7	8	16	0	0	0	2,422

【特例貸付相談状況】

相談対応件数（対応形態）				相談対応 合計件数
訪問	来所	電話	その他	
0件	132件	491件	145件	768件
内 外国人対応件数	内 外国人対応件数	内 外国人対応件数	内 外国人対応件数	内 外国人対応件数
0件	38件	64件	25件	127件
相談対応結果				
申請手続き 支援	他機関・サービ スへのつなぎ	社協継続支援	その他	特に対応なし
103件	47件	465件	141件	12件
内 外国人対応件数	内 外国人対応件数	内 外国人対応件数	内 外国人対応件数	内 外国人対応件数
15件	5件	73件	38件	2件

●心配ごと相談所開設

1,650,688 円

市民に身近な、なんでも相談窓口として「心配ごと相談所」を開設し、様々な相談に対応するとともに、広報紙により相談所の周知に努めました。

- 開設日時 … 月曜日から金曜日の10時～12時、13時～15時
- 弁護士相談… 原則第1・第3水曜日に実施
- 相談員 … 「社会福祉協議会における様々な事業」について研修会を実施
 - ・年に2回、つながりサポート事業に係る関係機関連絡会に参加
 - ・年に6回、相談員連絡会を開催し、相談員同士の情報交換を実施
 - ・年に4回、傾聴ボランティア連絡会に参加

【相談内容の内訳件数】

内容	令和7年度	令和6年度	内容	令和7年度	令和6年度	内容	令和7年度	令和6年度
離婚	10	6	生計	9	7	精神保健	55	45
家族	44	52	財産	21	20	苦情	5	6
人権・法律	7	11	住宅・近所問題	26	7	職業・生業	22	32
事故	1	2	消費者問題	7	3	医療	2	2
結婚	3	0	環境	2	2	高齢者福祉	12	11
年金	0	0	児童福祉	0	0	教育・青少年	1	0
心身障害児者福祉	0	1	母子父子福祉	0	0	その他	117	93

弁護士相談：42件

合計	令和7年度	344	令和6年度	300
----	-------	-----	-------	-----

●歳末たすけあい見舞金の配付

2,334,343 円

市内の経済的事情により生活に困っておられる世帯に、民生委員・児童委員と協力して見舞金を配布しました。また、一時的に支援が必要な世帯には緊急的な支援として食糧を支給しました。また、福祉施設や団体等へ見舞金を配布しました。

見舞金の配布先など	対象数
市内の準要保護世帯	159世帯
福祉施設、団体等	76施設
歳末たすけあい子ども支援事業助成	1学区
その他、一時的に支援が必要な世帯に、緊急の食糧支援	市社協緊急食糧支援として 10件 チューリップ事業を通して 72件 草津市（人とくらしのサポートセンター）を通して 2件

＜関連する事業＞

- ・チューリップ事業（つながりサポート事業）
- ・地域福祉権利擁護事業の推進

(2-2) 地域福祉権利擁護事業の充実

- 生活支援専門員、生活支援員の力量を向上させ、利用者が安心して生活を送れるようにしていきます。
- 金銭の入出金等に係る事務処理をより厳格なものとし、利用者の財産保全を確実なものとしします。
- 地域包括支援センターや生活保護担当部署等、関係機関との連携をより強化し、利用者の課題に対してチームで取り組みます。
- よりわかりやすい広報誌やパンフレット、ホームページでの啓発、また出前講座を実施し、本事業への理解を深める取組を進めます。

●自立生活支援専門員、生活支援員による生活支援

4,463,970 円

判断能力が充分でないため、毎日の暮らしの中で福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めました。利用者に寄り添った、確実できめ細かな支援を継続できるよう支援を行いました。

また、滋賀県社会福祉協議会が主催する、地域福祉権利擁護事業生活支援員、新任職員研修会に参加しました。

【相談件数】

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
高齢者	277件 (150件)	586件 (340件)	618件 (332件)	427件 (146件)	373件 (171件)
知的障害者	1,102件 (198件)	1,325件 (197件)	1,121件 (175件)	1,334件 (182件)	687件 (160件)
精神障害者	1,744件 (1,472件)	1,727件 (1,194件)	1,570件 (805件)	1,731件 (961件)	1,557件 (930件)
身体障害者他	4件 (2件)	20件 (3件)	87件 (0件)	48件 (0件)	28件 (0件)
計	3,127件 (1,822件)	3,658件 (1,734件)	3,396件 (1,312件)	3,540件 (1,289件)	2,645件 (1,261件)

※ () は生活保護受給者からの相談件数

【契約人数の推移】

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
高齢者	4人	4人	6人	4人	6人
知的障害者	21人	25人	24人	25人	23人
精神障害者	14人	15人	16人	18人	17人
身体障害者	0人	0人	0人	1人	1人
合計	39人	44人	46人	48人	47人

【契約人数の状況】

	令和6年度 契約人数 (A)	令和7年度 解約人数 (B)	令和7年度 新規契約人数 (C)	3月末現在契約人数 (うち生活保護) (A) - (B) + (C)
高齢者	4人	0人	0人	4人(2人)
知的障害者	25人	4人	0人	21人(4人)
精神障害者	15人	2人	1人	14人(9人)
身体障害者	0人	0人	0人	0人(0人)
合計	44人	6人	1人	39人(15人)

【生活支援員支援回数】

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
支援回数	695回	923回	895回	837回	922回
内生活保護受給者支援回数	396回	420回	372回	365回	374回

○支援専門員・生活支援員の体制

- ・支援専門員：4人
- ・生活支援員：22人（男性：8人 女性：14人）

○地域福祉権利擁護事業 新規相談等の受付経路

- ・行政機関からの相談 5件
- ・地域包括支援センターからの相談 4件
- ・市立障害者福祉センターからの相談 2件
- ・ケアマネジャーからの相談 1件
- ・障害者相談支援事業所 6件
- ・その他支援機関からの相談件数 11件
- ・本人や家族からの相談 3件

【周知啓発 出前講座】

依頼先	実施日	参加者
滋賀県立精神医療センター 医療観察法病棟社会復帰講座	令和7年 8月8日（金）	15人
草津市基幹相談支援センター 草津市相談支援専門員スキルアップ研修	令和8年 2月16日（月）	17人

【支援専門員・生活支援員 研修会】

開催日	内容	参加人数
令和7年 5月20日（火）	【草津栗東更生保護サポートセンター研修会】 ・ソーシャルスキルトレーニング講座①	専門員：2人 支援員：6人
6月16日（月）	【県社協新任研修会】 ・地域福祉権利擁護事業の成り立ちと取り組み状況について ・地域福祉権利擁護事業における意思決定支援について ・知的障害者の理解と意思決定支援について ・交流会 つながりをつくろう！	専門員：1人
6月27日（金）	【県社協新任研修会】 ・精神障害者の理解と意思決定支援について ・認知症高齢者の理解と意思決定支援について	専門員：2人 支援員：4人
9月9日（火）	【草津栗東更生保護サポートセンター研修会】 ・ソーシャルスキルトレーニング講座①	専門員：2人 支援員：7人
12月23日（火）	【県社協新任職員フォローアップ研修会】 ・ジレンマを大切にした支援～地域福祉権利擁護事業の事例検討を通して～ ・情報交換会	専門員：2人 支援員：2人

●適正実施の確保に向けた取組

令和4年度における地域福祉権利擁護事業の不適切事案を踏まえ、専門員や支援員等が事業を適正に遂行するための資質や能力を備える取組を推進するにあたり、取組の方針や内容等について客観的かつ専門的な立場から意見を求めるために、懇話会を実施しました。弁護士や行政等の委員から意見を聴き、取組方針の策定に反映しました。

開催日	内容
令和7年 8月22日（金）	(1) 適正な事業実施のための取組状況について (2) 令和7年度上半期の取組状況について (3) 令和7年度下半期の取組計画について (4) 令和8年度以降の協議のしかたについて

<関連する事業>

- ・市社協広報紙「社協くさつ」発行
- ・市社協ホームページ運営
- ・近所力アップ講座

(3) 市社協の基盤強化

地域福祉活動を安定的・継続的に進めることができるよう、市社協事務局の体制を築くため、必要な財源の確保や、職員の育成に努めます。

(3-1) 地域福祉活動推進に要する財源確保 重点

「見える社協、魅せる社協活動」について企業等へPRすることで、地域福祉活動を応援いただける賛助会員を増やし、加入促進を図るとともに、市社協会費制度への理解と協力を広げます。

クラウドファンディングや目的を明確にした寄付金の提案等、新たな財源確保の方策を検討します。

市内の地域福祉活動へ助成を行っている赤い羽根共同募金運動を盛り上げることで、財源確保につなげます。

●「社協くさつ」「ホームページ」有料広告

65,000 円

市社協広報紙「社協くさつ」、ホームページにて、有料広告を募集し、財源確保に努めました。

【社協くさつおよびホームページ 広告掲載企業】

9月1日号	(有)三王都市開発、 特定非営利活動法人アイ・コラボレーション
11月1日号	(有)三王都市開発、 特定非営利活動法人アイ・コラボレーション
3月1日号	(有)三王都市開発、 特定非営利活動法人アイ・コラボレーション 株式会社木村牧場
ホームページ	特定非営利活動法人アイ・コラボレーション 株式会社藤田

●「ふくちゃん」啓発

ボランティアマルシェをはじめ、イベントにふくちゃんを派遣し、市社協のPRや草津市内の地域福祉活動について啓発を行いました。

No.	開催日	内容	依頼団体
1	令和7年 6月14日（土）	ボランティアマルシェ	※市社協事業で使用
2	10月13日（月）	やまだ秋まつり	山田学区社会福祉協議会
3	12月19日（金）	キラリエクリスマス	※市社協事業で使用

●共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）運動の推進

民間福祉事業の振興を図るために10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進しました。

赤い羽根共同募金	6,615,481円
歳末たすけあい募金	4,586,366円
計	11,201,847円

●赤十字事業の推進（日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局）

日本赤十字社の活動資金募集や、赤十字活動の普及を図りました。また、赤十字活動を支えるボランティアである草津市赤十字奉仕団の活動を支援し、「社協くさつ」にて赤十字活動についての記事を掲載し、周知・啓発を呼びかけました。

義援金・救援金名	義援金・救援金額
ウクライナ人道危機救援金	678,982円
令和6年能登半島地震災害義援金	6,001,759円
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	191,946円
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	58,568円
令和7年トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金	4,177円
令和7年度台風8号に伴う災害義援金	7,874円
令和7年度8月6日からの大雨災害義援金	7,620円
令和7年台風第12号災害義援金	558円
令和7年台風第15号災害静岡県義援金	1,062円
令和7年台風第22号及び23号災害義援金	1,509円
令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金	19,938円
令和7年青森県東方沖地震義援金	520円
2025年ミャンマー地震救援金	10,000円
2025年アフガニスタン地震救援金	1,000円
合計	6,985,513円

（令和8年3月31日現在 累計額）

＜関連する事業＞

- ・市社協会員の拡大
- ・善意銀行事業
- ・ボランティア基金の運用、寄付金の募集
- ・寄付付き名刺の販売

（３－２）事務局体制の強化

役職員等に対しての地域福祉研修会などを実施し、社会変化に応じた社協運営ができるよう努めます。

全職員のスキルアップをはかり、地域福祉コーディネート機能を発揮できるよう努めます。

事業の効果等確認し、継続する事業や見直す事業を明確にし、より地域のニーズにあった事業への更新等を行います。

「草津市社会福祉協議会職員行動規則」にのっとり、常に使命感をもち、信頼される社協づくりを進めます。

●社会福祉援助技術現場実習

社会福祉の専門家をめざす学生に、人材育成の一環として、社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な実習の場を提供しました。

○受入期間：令和７年９月２９日（月）～１１月４日（火）

○受入人数：２人（龍谷大学）

●第三者委員会の設置

苦情対応窓口を設置し、苦情解決の第三者委員会を開催しました。

開催日	内容	出席委員
令和８年 ３月２６日（木）	・地域福祉権利擁護事業において支援予定を失念し、出金ができなかった件について ・生活福祉資金調査実費弁償費の誤支給について ・社協くさつ３月１日号掲載の寄付金額の記載誤りについて ・地域福祉権利擁護事業の適正実施に向けた取組状況について	西川裕子 清水清之

●役員会の開催ならびに研修会の開催

608,537 円

理事会、評議員会、正副会長会、評議員選任解任委員会を適宜開催するとともに、研修会の実施や参加、他機関の会議等への積極的な参加協力を行い、役員体制の強化を図りました。

【正副会長会】

	開催日	議案
第１回	令和７年 ５月１９日（月）	※第１回理事会の提出議案について ・令和６年度事業報告の承認について

		・令和6年度決算の承認について ・令和7年度第1次補正資金収支予算（案）の同意について ・理事及び監事候補者の推薦について ・補充評議員候補者の推薦および次期評議員候補者の推薦ならびに評議員選任・解任委員会の招集について ・令和7年度定時評議員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第2回	7月25日（金）	・令和7年度草津市社会福祉協議会表彰被表彰者の決定について ・草津市社会福祉協議会70周年特別感謝状贈呈にかかる被表彰者の決定について
第3回	12月3日（水）	※第3回理事会の提出議案について ・令和7年度第2次補正資金収支予算（案）の同意について ・経理規程の一部改正について ・評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について ・令和7年度第2回評議員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第4回	令和8年 2月25日（水）	※第4回理事会の提出議案について ・令和7年度第3次補正資金収支予算（案）の同意について ・令和8年度事業計画（案）の同意について ・令和8年度資金収支予算（案）の同意について ・令和8年度資金運用計画（案）の承認について ・評議員選任・解任委員会の招集および補欠評議員候補者の推薦について ・令和7年度第3回評議員会の招集について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・第三者委員の委嘱について

【理事会、評議員会、評議員選任解任委員会】
（理事会）

開催日		議 案
第1回	令和7年 5月29日（木）	・令和6年度事業報告の承認について ・令和6年度決算の承認について ・令和7年度第1次補正資金収支予算（案）の同意について ・理事及び監事候補者の推薦について ・補充評議員候補者の推薦および次期評議員候補者の推薦ならびに評議員選任・解任委員会の招集について ・令和7年度定時評議員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第2回	6月17日（火）	・会長の選定について

		・副会長の選定について ・常務理事の選定について ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
第3回	12月16日（火）	・令和7年度第2次補正資金収支予算（案）の同意について ・経理規程の一部改正について ・評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について ・令和7年度第2回評議員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第4回	令和8年 3月5日（木）	・令和7年度第3次補正資金収支予算（案）の同意について ・令和8年度事業計画（案）の同意について ・令和8年度資金収支予算（案）の同意について ・令和8年度資金運用計画（案）の承認について ・評議員選任・解任委員会の招集および補欠評議員候補者の推薦について ・令和7年度第3回評議員会の招集について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・第三者委員の委嘱について

（評議員会）

開催日		議 案
定時	令和7年 6月26日（水）	・令和6年度事業報告の承認について ・令和6年度決算の承認について ・令和7年度第1次補正資金収支予算（案）の承認について ・理事及び監事の選任について
第2回	令和8年 1月19日（月）	・令和7年度第2次補正資金収支予算（案）の承認について
第3回	3月19日（木）	・令和7年度第3次補正資金収支予算（案）の承認について ・令和8年度事業計画（案）の承認について ・令和8年度資金収支予算（案）の承認について

（評議員選任・解任委員会）

開催日		議 案
第1回	令和7年 6月10日（火）	・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について ・次期評議員の選任について
第2回	令和8年 1月9日（金）	・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について
第3回	3月10日（火）	・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について

○他機関の会議への参画

- ・草津市市政功労者表彰選考委員会
- ・草津市民生委員推薦会
- ・草津市人権擁護審議会
- ・草津市健康づくり推進協議会
- ・草津市ごみ問題を考える草津市民会議
- ・草津市人権擁護推進協議会
- ・草津市同和教育推進協議会
- ・草津市自殺対策推進会議
- ・草津市福祉有償運送運営協議会
- ・草津市地域包括支援センター運営協議会
- ・草津市障害者施策推進審議会
- ・草津市特定旅館建築規制審議会
- ・草津市あんしんいきいきプラン委員会
- ・草津栗東防犯自治会
- ・草津市国民保護協議会
- ・草津市青少年育成市民会議
- ・草津市要保護児童地域対策協議会
- ・草津市発達障害者等支援システム推進協議会
- ・草津市平和祈念のつどい実行委員会
- ・草津市地域福祉推進市民委員会
- ・草津市市営住宅審議会
- ・草津市社会福祉法人等審査会
- ・日本赤十字社滋賀県支部評議員会
- ・社会福祉法人滋賀県共同募金会評議員会
- ・湖南地域社会福祉連絡協議会
- ・滋賀県市町社会福祉協議会会長会
- ・第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市実行委員会
- ・草津市新型インフルエンザ等対策有識者会議
- ・草津市住宅政策審議会

○役員研修会

開催日	内容	参加者
令和7年 7月24日（木）	■滋賀県市町社会福祉協議会会長会トップセミナー 演題：地域共生社会の実現に向けた地域福祉施策の動向と社協の役割について 講師：同志社大学社会学部社会福祉学科 教授 永田祐さん	2人
令和7年 ①令和7年 9月27日（土） ②令和8年 2月5日（木）	■令和7年度第1回福祉講座 ①第1講座 演題：「支え合いの地域づくりを共に～誰もが心温かく支え合い住み続けたい草津市を目指して～」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団 理事長 清水 肇子さん ②第2講座 演題：「福祉事業所と学生ボランティアの目指す先～私たちは今、福祉の種をまいていく必要がある～」 コーディネーター： 武庫川女子大学心理・社会福祉学部社会福祉学科 教授 松端 克文さん パネリスト： 特別養護老人ホームやわらぎ苑 施設長 小山 大介さん 滋賀県立むれやま荘 所長 北川 弘さん 特別養護老人ホームえんゆうの郷 施設長 吉久 洋平さん 学生ボランティア 龍谷大学社会学部現代福祉学科 内山 楓子さん 龍谷大学社会学部現代福祉学科 林 蒼さん 京都大学 薬学部 植田 瑞希さん	①29人 ②14人
令和8年 1月23日（金）	■滋賀県市町社会福祉協議会役員等研修 演題：①社協経営と理事・監事・評議員の役割と責任 ②社協役員の財務管理	2人

	講師：①中部学院大学人間福祉学部人間福祉学科教（兼任）人間福祉研究科教授（兼任）地域連携推進センター 佐甲 学さん ②公認会計士渡部博事務所 所長 渡部 博さん（公認会計士・税理士）	
--	---	--

●職員会議、職員研修の開催

市社協の適正運営や事業推進のための情報共有や共通認識を職員間で図るために、毎月定例の職員会議、グループ会議を行いました。

また、県社協等が主催する研修に参加し、職員としての資質向上に努めました。